お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

- 禁止：器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災·感電·落下の原因)
- 禁止：器具やランプを布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)
- 禁止：器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災·感電の原因)

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋·家財などの損害に結びつくもの

- 禁止：お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。(火災·感電の原因)
- 禁止：ランプに塗料などを塗らない。(ランプが過熱·破損してけがの原因)
- 禁止：ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。(ランプが破損してけがの原因)
- 禁止：器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)
- 厳守：明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守·点検を行う。

点検

■6ヵ月に1回外観及び機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[消防庁告示第3号と第14号]

■消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第31条]

■24時間以上充電後、非常点灯持続時間が20分以下となったら蓄電池を交換する。

ランプについて·器具の清掃

「ランプについて」
○暗い所で放置すると、周囲が暗い状態(数ルクス以下)では点灯しにくい場合がありますが、周囲を明るくすれば点灯します。
○周囲温度が5°C以下の場合、ランプの輝度、寿命が著しく低下します。
○多灯用のランプを交換するときは、全てのランプを一斉に交換してください。

適合ランプ CF220T4EN-M

⚠注意
○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。(高温のためやけどの原因)
○ランプはリフレクタに確実に取付ける。(取付けが不完全な場合落下の原因)
○使用済みのランプは不用意に割らない。(ガラスが飛散してけがの原因)
○ランプの電線を引っ張らない。(ランプ破損の原因)

⚠警告
器具·ランプを水洗いしない。(火災·感電の原因)

清掃
○柔らかい布にぬるま湯または石けん水をつけてよく絞ってふきとってください。
○シンナー、ベンジン、磨き粉やたわし、熱湯科学雑巾などは使用しないでください。

蓄電池の交換

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)

器具形名	KSH2711	KSH2722　KSH4712 KSH4724
蓄電池	4N06DB	4N12DE

○蓄電池の交換は指定のものを使用してください。

⚠警告
蓄電池はショート·分解·加圧·変形させない。
また、火中に入れない。(やけどや衣類損傷の原因)

○使用済みの蓄電池は環境保全と資源再利用のため、下記回収処理業者へお問い合わせください。
問い合わせ先
日本リサイクルセンター(株)　本社☎06(6311)9071
東邦亜鉛(株)　本社☎03(3272)5657
関西触媒化学(株)　東京営業所☎03(3246)0606

Ni-Cd

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。(火災·感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先
三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2728 (施設照明営業課)
☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

E766Z441H21

MITSUBISHI

三菱避難口·通路誘導灯

[蓄電池内蔵形]

形名 **KSH2711** (B級·BL形·片面灯)　**KSH4712** (B級·BH形·片面灯)
KSH2722 (B級·BL形·両面灯)　**KSH4724** (B級·BH形·両面灯)

取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

認定　保管用

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
絶対に行わないでください。　必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

- 禁止：引火する危険のある雰囲気で使わない。(ガソリン·可燃性スプレー·シンナー·ラッカー·可燃性粉じんのある所で使わない。)(火災の原因)
- 禁止：器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電·火災の原因)
- 禁止：配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁破壊により感電·火災の原因)
- 厳守：施工は電気設備の技術基準·内線規程に従い行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋·家財などの損害に結びつくもの

- 禁止：高温(35°C以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動·衝撃のある場所で使わない。(落下·感電·火災の原因)
- 禁止：さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。(劣化による落下の原因)
- 禁止：器具は乾燥不十分なクロス貼り·コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電·落下の原因)
- 禁止：風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。(火災·感電の原因)
- 禁止：雨水のかかる場所で使わない。(水気·湿気が入り感電の原因)
- 禁止：表示された電源電圧以外では使わない。(火災·感電の原因)
- 禁止：狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。(器具が過熱して火災の原因)
- 禁止：工場等での特殊環境(油類噴霧状態等)では、使用できません。

お願い

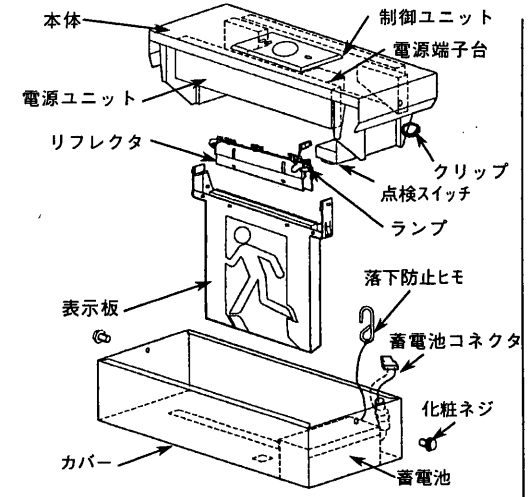
■器具の周辺温度が5~35°Cの範囲で使用してください。
■直射日光や、空調機器等の排気口·温風吹出口付近の取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下することがあります。)

定格

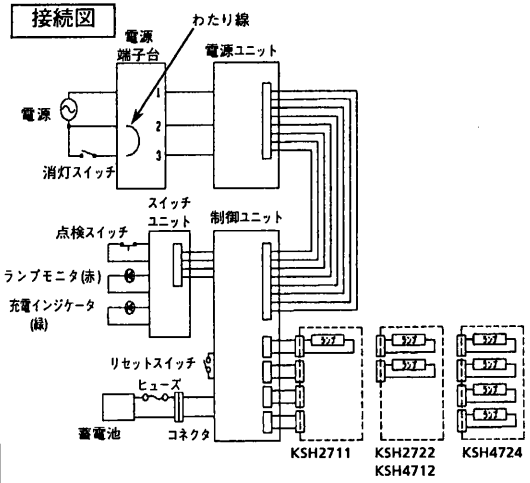
	常時				非常時			
	KSH2711	KSH2722	KSH4712	KSH4724	KSH2711	KSH2722	KSH4712	KSH4724
使用ランプ	CF220T4EN-M				CF220T4EN-M			
	1灯	2灯	2灯	4灯	1灯	2灯	2灯	2灯
定格電圧	AC100V				密閉形 Ni-Cd 蓄電池 4.8V 600mAh	密閉形 Ni-Cd蓄電池 4.8V 1200mAh		
入力電流	0.13A	0.20A	0.20A	0.33A				
入力電力	5.8W	9.6W	9.5W	16.0W				
定格周波数	50/60Hz							

各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う。(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

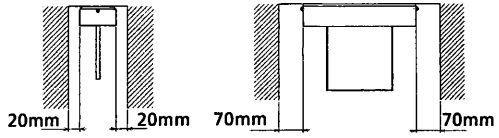


接続図



1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。
○取付工事のため次のように器具の両側に70mm以上の余裕を設けてください。

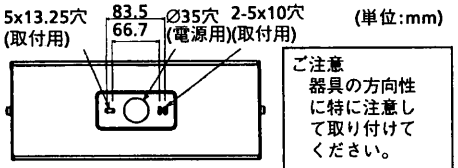


⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。 (落下の原因)

2 器具本体を取付ける。

<天井直付の場合>
(1)電源線・アース線を器具本体の電源穴から引き込んでおく。
(2)下図の寸法を参考にして本体を確実に取付ける。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因



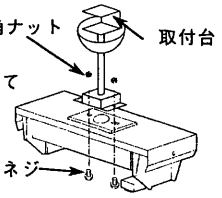
ご注意
器具の方向性に特に注意して取り付けてください。

KSH2711
KSH4712 点検スイッチが表示面側となります。

KSH2722 器具本体には方向性があります。表示板の矢印を確認してから本体を取付けてください。

KSH4724には、方向性はありません。

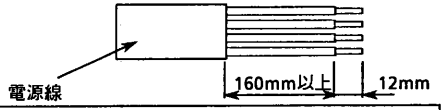
<天井吊下げの場合>
○吊具 C133P(別売)を使用して取付ける。
(1)本体を吊具に取付ける。
(2)吊具を天井に取付ける。



「ランプモニタ」について
ランプモニタ(赤)
赤色のランプモニタは「ランプの寿命」をお知らせするものです。
ランプの累積点灯時間が40,000時間(ランプの寿命は約40,000時間です)に達すると赤色に点灯しますので、新しいランプと交換してください。

3 電源線を電源端子台に接続する。

(1)電源線の皮むき寸法は、次のようにしてください。



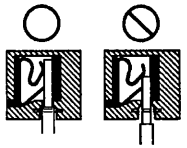
シースは160mm以上皮むきして、必ず保護チューブ(付属)を被せてから結線してください。

(2)電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
電源線は端子台に押しつけるように小さく曲げる。

⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

<D種(第3種)接地工事が必要です。>
○電源端子台の送り容量は20Aです。
○適合電線:Ø1.6mm単線 Ø2.0mm単線

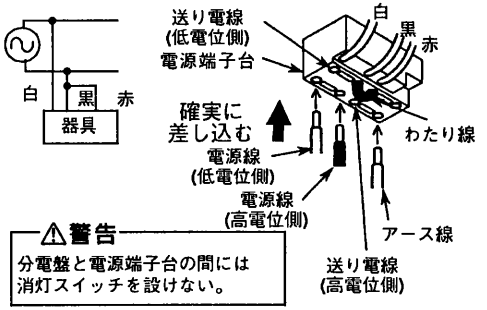
接続状態



⚠警告
送り配線は誘導灯専用とし、負荷容量を確認して接続する。
(負荷容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

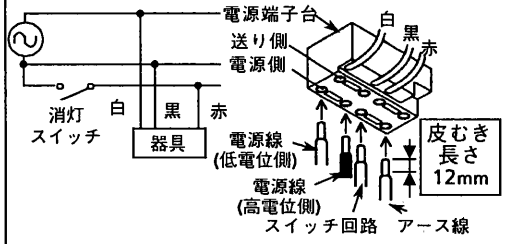
⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)

<単相2線2線式・常時消灯しない場合>



⚠警告
分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない。

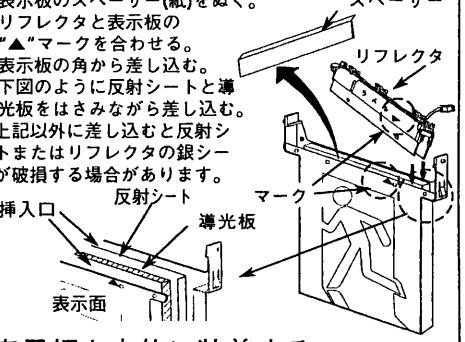
<単相2線3線式・常時消灯する場合>
・電源端子台の わたり線を はずす。



○蓄電池のコネクタを接続後、通電してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。
■常時消灯する場合は所轄の消防署の了解を得る必要があります。
■誘導灯消灯システム使用の場合は信号装置取扱説明書を参照してください。

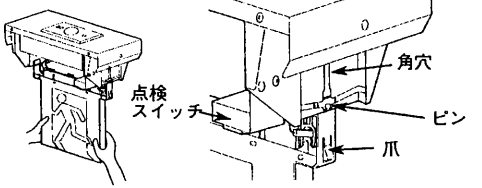
4 表示板(別売)にリフレクタを取付ける。

(1)表示板のスペーサー(紙)をぬく。
(2)リフレクタと表示板の"▲"マークを合わせる。
(3)表示板の角から差し込む。
(4)下図のように反射シートと導光板をはさみながら差し込む。
※上記以外に差し込むと反射シートまたはリフレクタの銀シートが破損する場合があります。

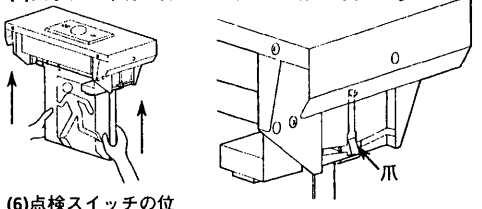


5 表示板を本体に装着する。

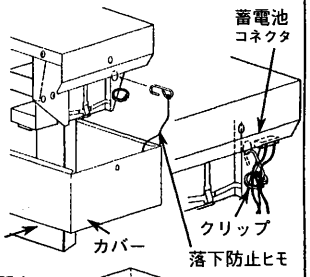
(1)点検スイッチ側と表示面を合わせる。 (KSH4724を除く)
(2)表示板のピンを本体の角穴にのせる。



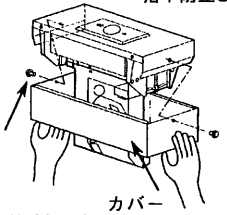
(4)ランプのコネクタを番号通りに本体側に差し込む。
(5)表示板を平行に押し上げ、爪を角穴に掛ける。



(6)点検スイッチの位置とカバーの穴の方向を合わせる。
(7)落下防止ヒモを図のように取付ける。
(8)蓄電地のコネクタを差し込む。(余ったリード線はクリップでとめる。)



(9)カバーの側面部2ヶ所を化粧ネジで締める。



お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

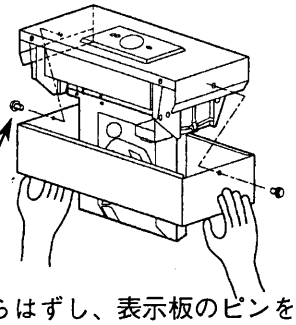
安全のために必ずお守りください

ランプ交換

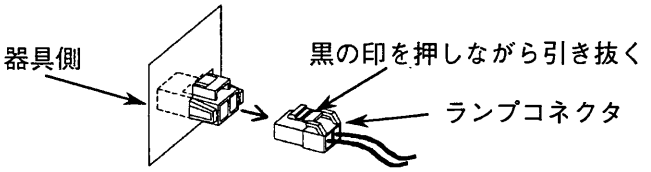
⚠警告 電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)

ランプ交換

(1)カバーの側面部の化粧ネジをはずし、蓄電池のコネクタをはずしてから落下防止ヒモをはずす。
(2)カバーを取り外す。

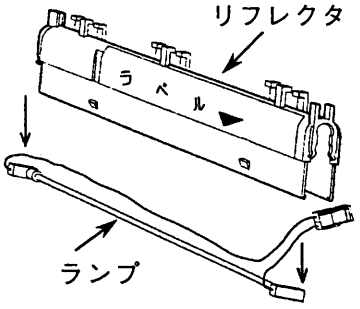


(3)表示板の爪を本体の角穴からはずし、表示板のピンを角穴に掛ける。
(4)ランプのコネクタをすべてはずしてから、表示板を取り外す。

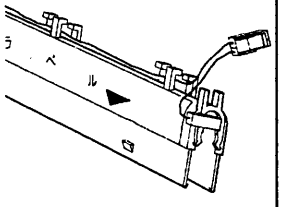


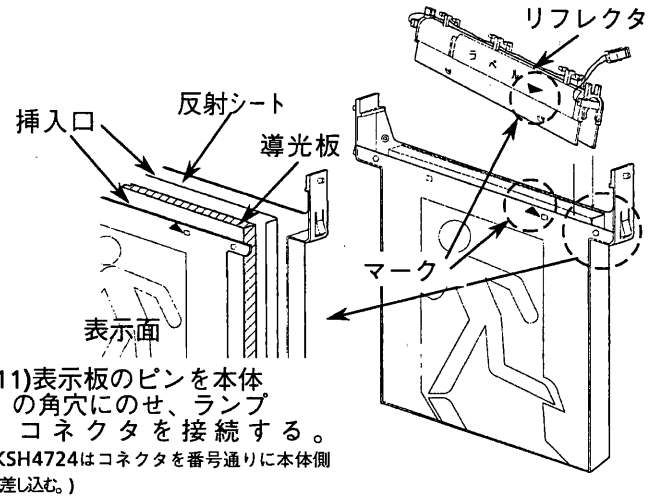
(5)表示板からリフレクタをはずし、ランプを外す。

⚠注意
ランプの両端部を持って外す。
(ランプ破損の原因)



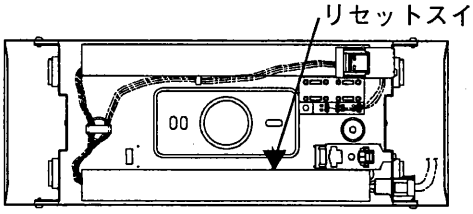
(6)ランプ交換後、ラベル側にランプ線を出すようにリフレクタに取付ける。
(7)リフレクタを表示板に取りつける。
"▲"マークを合わせる。
(9)表示板の差し込む。
(10)右上図のように反射シートと導光板をはさみながら角から差し込む。
※上記以外に差し込むと反射シートまたはリフレクタの銀シートが破損する場合があります。



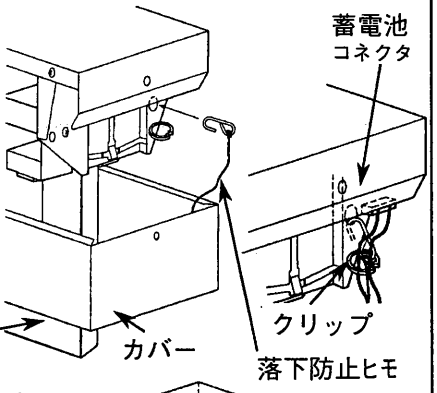


(11)表示板のピンを本体の角穴にのせ、ランプコネクタを接続する。
(KSH4724はコネクタを番号通りに本体側に差し込む。)

(12)必ず制御ユニットのリセットスイッチを押す。

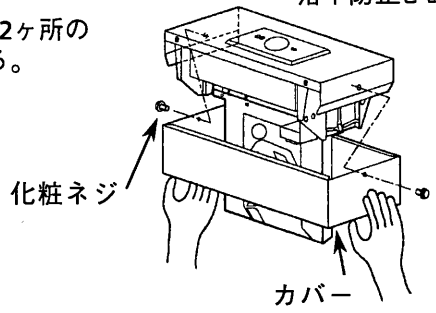


(13)表示板を平行に押し上げ、爪を角穴に掛ける。
(14)点検スイッチの位置とカバーの穴の方向を合わせる。
(15)落下防止ヒモを図のように取付ける。



(16)蓄電地のコネクタを差し込む。(余ったリード線はクリップでとめる。)

(17)カバーの側面部2ヶ所の化粧ネジを締める。



連絡先 三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2728 (施設照明営業課)
☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)